

# 新年

新年のご挨拶  
阿蘇市長 佐藤義興



新年 明けましておめでとうございませう。

皆様方におかれましては、希望に満ちた清々しい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

振り返りますと昨年は、まさに苦難の一年でありました。東日本大震災や震災に伴う原子力発電所事故は、日本のみならず全世界に大きな影を落とし、今もなお多くの方々が将来の見えない不安定な生活を余儀なくされています。

また、全国各地で台風や集中豪雨による災害も多く発生し、自然の驚異と人類のこれまでの歩んできた道を考えさせられる一年であつたように思います。

経済的にも、欧州の経済危機や歴史的な円高が進む一方、国内においては、不安定な政局、思うように回復しない地域経済、そして雇用不安など社会全体が閉塞感に満ちており、更なる困難が迫って

いるように見えます。

このような中、阿蘇市では、市民の皆様方が安全に安心して幸せを実感していただける毎日を過ごすことができるよう社会生活基盤の整備を着実に進め、教育環境の整備、市全域への光ファイバーケーブル敷設とお知らせ端末の設置、国道57号に次ぐ第二の路線として阿蘇市を東西に結ぶ幹線道路整備、老朽化した市営住宅の再整備等々に取り組んできました。

また、市民の方々の生命を守る阿蘇中央病院建設について、関係各機関のご協力のもと阿蘇医療圏域の中核病院として事業に着手、急性期医療を備えた病院として平成25年度中の開院を目指し、本年の着工に向け準備を進めています。引き続き、医療・福祉・教育・観光・農林畜産業・商工業等々に対する市民の方々の様々な思いを大切に、元気溢れる阿蘇市を目指

し、「世界の阿蘇」として、自然との共生をテーマに対話によるまちづくりを進めていきます。

特に阿蘇の代名詞とも言える草原は今、危機的状況にあります。この草原の維持・保全そして再生は、「世界文化遺産登録」や「世界ジオパーク認定」に欠かすことのできないものです。関係機関・他団体、生産農家等との連携協力のもと、放牧の推進や諸施策を進め、草原再生活動に努めて参ります。

皆様方におかれましても、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。輝ける平成24年が皆様方にとりまして、実りある素晴らしい一年となりますことを心から祈念申し上げます、更にこの阿蘇市が、今まで以上に希望に満ちた飛躍と発展を遂げていく年となりますことを願います。年頭の挨拶とさせていただきます。

# 謹賀



## 新年のご挨拶 阿蘇市議会議長 田中則次

新年、明けましておめでとうございませう。

年頭に当たり、市議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。市民の皆様方におかれましては、本市議会に對しまして、あたたかいご支援、ご協力を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内外でいろいろな出来事がございます。

特に、昨年3月、東日本で大地震が発生し、沿岸の各地では集落や市街地が丸ごと流失するという未曾有の災害が発生しました。それだけでなく、福島第一原子力発電所では放射性物質が漏出し、住民が避難するという深刻な事態がもたらされました。東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心からお見舞い申し

上げます。

また、昨年11月、米国で開かれたアジア太平洋経済協力会議において、野田首相は、TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入ることを表明されました。しかし、TPPは、単に農畜産物等の関税撤廃にとどまらず、金融、保険、医療、労働など、国家存立にかかわる重要な問題を内包しております。このため、本市議会は昨年12月、TPP参加反対の意見書を国に提出いたしました。今後も粘り強く働きかけていかなければなりません。

さて、合併から7年が経過しようとしております。本市のまちづくりの目的である「阿蘇の自然と共生する環境都市づくり」に向けた取り組みが着々と進行しております。特に、阿蘇ジオパークの世界認定は、阿蘇地域が進めている世界文化遺産登録の足がかりにもな

ります。これからも引き続き、阿蘇郡市一体となつて、世界ジオパークネットワークへの加盟認定を目指します。

なお、平成21年度から着手しました「光ネットワーク整備事業」が完成し、お知らせ端末により、行政等からの様々なお知らせやインターネット放送局と連携した映像等の配信が行われ、福祉や防災、地域産業活動等に活用されていきます。これからも、まちづくりの主要役は市民の皆様であることを第一に、住んで良かったと思えるまちづくりの実現に向けて、鋭意努力してまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年がより実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。